

第29回埼玉医科大学医学会総会
第5回公開シンポジウム

新世紀の感染症学

—その病態解明と治療に挑む—

平成14年11月22日（金）16:00～20:00

埼玉医科大学本部棟第三講堂

総合司会 齋藤 一之（埼玉医科大学法医学）

感染症学の動向と埼玉医科大学

赤塚 俊隆（埼玉医科大学微生物学教授）

C型肝炎の問題と最新研究

宮村 達男（国立感染症研究所 ウイルス第二部部长）

細胞内寄生菌感染症と免疫応答

光山 正雄（京都大学大学院医学研究科 感染・免疫学教授）

レジオネラ感染症の最新の診断と治療

舘田 一博（東邦大学医学部 微生物学講師）

抗菌薬耐性菌感染症の現状とその対策

生方 公子（北里生命科学研究所 感染制御・免疫学部門教授）

これからの感染症学の研究と診療の展望

前崎 繁文（埼玉医科大学感染症科・感染制御科）



齋藤幹事長: 埼玉医学会の幹事長を務めさせていただいております, 法医学の齋藤です。本日は演者の先生方にはご遠路お越しいただき, どうもありがとうございます。本日はどうぞよろしく願いいたします。お忙しいところおいでいただきました皆様方にお礼申し上げます。今回のシンポジウムは, 本学の微生物学の赤塚教授と, 感染症・感染制御科の前崎科長にお願いし, コーディネートしていただきました。最初と最後におふたかたの先生にレビューをしていただく予定です。

それでは早速, 最初の演題で, 本学微生物学の赤塚教授からお願いしたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。